

事業コンセプト／計画概要



都市型観光の拠点として渋谷の新たな玄関口へ

道玄坂一丁目にあった旧東急プラザ渋谷を含むエリアを建て替えて誕生した「渋谷フクラス」は、渋谷を訪れる多世代やインバウンドの人々にとって渋谷駅西口の新たな玄関口となることが期待されています。

特に渋谷はショッピングや探索を目的に、外国人をはじめ多くの方が訪れる街です。そこで渋谷フクラスの1階部分に、バスターミナルと観光支援施設を併設し、渋谷駅周辺の国際競争力を一段と強化。さらに東急プラザ渋谷が新たな装いでオープンし、魅力あふれるショッピングの場を提供するなど、都市型観光拠点としての環境を整備しました。

新たなトレンドの発信拠点・渋谷で自分らしく暮らすことで得られる幸福を、この施設を介して大きく膨らませ、あらゆる人々が豊かな人生を楽しめる場所を目指します。



◆ ビジネスの起点となる場を創出

- 高層部に配置したオフィスフロアに加えて、クリエイティブ・コンテンツ産業や外国企業の進出拠点となる産業進出支援施設「ビジネスエアポート渋谷フクラス」を整備し企業やクリエイターのスタートアップとなる場を創出

◆ 商業施設ゾーンに新生「東急プラザ渋谷」が、全69店舗で誕生

- 中低層部と17・18階に、進化して生まれ変わった「東急プラザ渋谷」がグランドオープン。17・18階部分には渋谷を訪れる人々の憩いの場となる屋上広場「SHIBU NIWA」を整備し、これまでにないフロア構成で、都会派の感性が成熟した大人を魅了する全69店舗を展開

◆ 1階部分にバスターミナルと観光支援施設を設置

- 一般路線バスや、羽田・成田両空港からの空港リムジンバスが発着するバスターミナルを整備
- 観光案内や手荷物預かりなどの機能を備えた観光支援施設「shibuya-san」をバスターミナルに併設。内部に、渋谷のアートカルチャーを世界中に発信する「アートセンター」を設置

◆ 周辺の歩行者の安全を考え、渋谷フクラス地下に地域荷捌き所を整備

- 周辺の一部街路においても、来街者が誰でも安心してめぐれる憩いの場として再整備を実施。配送業者などの荷捌きによって道路の混雑や事故を防止するために、渋谷フクラスの地下に地域荷捌き所「ESSA」を設置。来街者の安全性・快適性と街の回遊性を高め、地元商店街のにぎわいを創出

建物の概要

事業主体 道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合
所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号
用途 店舗、事務所、駐車場等
敷地面積 約3,336㎡
延床面積 約58,970㎡
階数 地上18階（建築基準法上は19階）、地下4階

高さ 約103m
設計者 デザインアーキテクト：手塚建築研究所
 マスターアーキテクト：株式会社日建設計
設計・監理 清水建設株式会社一級建築士事務所
施工者 清水建設株式会社
開業 2019年11月

施設の構成と特徴

自分らしく暮らすことで得られる幸福を
フクラスの各施設を通して膨らませます

高層部にはオフィスフロアを配置するとともに、産業進出支援施設として東急不動産が展開するシェアオフィス「ビジネスエアポート渋谷フクラス」を整備。中低層部の2～8階と17・18階には、生まれ変わった「東急プラザ渋谷」、1階にはバスターミナルと観光支援施設を併設しました。地下2階に、地元商店街への配送業者が利用可能な地域荷捌き所を設置したのも特徴の一つです。



東急プラザ (2-8F、17・18F)

商業施設ゾーンに「大人をたのしめる渋谷へ」がコンセプトの新生「東急プラザ渋谷」が誕生。ターゲットである「都会派の感性が成熟した大人たち」の関心が高い「食」「健康」「美」「趣味」「ライフプラン」をキーワードに、魅力ある69店舗を集めました。なかでも屋上階には、渋谷の街を一望できるルーフトップガーデン『SHIBU NIWA』を設置。総合エンタテインメントレストラン「CÉ LA VI」も日本初上陸し、ここでしか体験できない大人の社交場となっています。

また、6階、7階の飲食フロアは『シブヤグラン食堂』として、シーンや気分でチョイスできるバラエティ豊かな“渋谷の大人のお墨付き食堂”が揃っています。

グラマラス森田氏が 環境デザインを担当

本施設の環境デザインを手掛けるのは、国内外で活躍するGLAMOROUS co.,ltd.のデザイナー森田恭通氏。

「Station of Life」をデザインコンセプトに、各フロアで異なる素材を用いて個性的な雰囲気を出し、経年変化によって魅力が増すタイムレスなデザインと安らぎを両立しています。



2階 メインエントランス



17階、18階 SHIBU NIWA



6階 シブヤグラン食堂

産業進出支援施設 ビジネスエアポート渋谷フクラス (17F)

クリエイティブ・コンテンツ産業や外国企業進出の足掛かりとなる産業進出支援施設として、会員制シェアオフィスを開業。作業や商談、リフレッシュを目的にシェアワークスペース（ラウンジ）の面積比率を高めています。

⇒詳細はP41

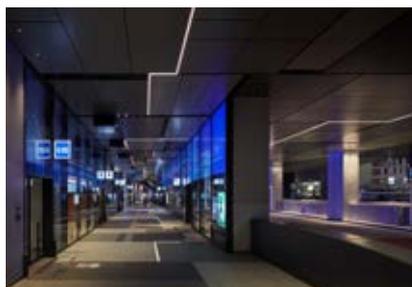


バスターミナル (1F)

一般路線バスに加え、羽田・成田両空港から乗り入れる空港リムジンバスが観光支援施設の目の前に発着。まさに渋谷を訪れる国内外の観光客の玄関口といえます。

- 渋谷～羽田空港 31便※
- 二子玉川・渋谷～成田空港 29便※

※乗り入れ便数（両方面合計）2019年12月現在



観光支援施設 shibuya-san（シブヤサン） (1F)

1階のバスターミナルに併設された観光支援施設「shibuya-san（シブヤサン）」。「観光案内や手荷物預かりなどの機能を備えるとともに、ツーリストがローカルの人々と交わることができる体験・交流の場を創出しています。

⇒詳細はP30

